

病理診断科で実施中の臨床研究

課題名：潰瘍性大腸炎の早期診断マーカーの探索

研究代表者：病理診断科医員 浜本 雄一郎

研究の対象：2020年4月1日～2021年4月30日に病理診断を受けられた潰瘍性大腸炎患者様の生検検体（大腸・直腸）を対象とします。同時期に非特異的腸炎あるいは正常と診断された患者様の生検検体（大腸・直腸）も対象とします。

研究目的・方法：腸上皮粘液（ムチン）の発現変化が潰瘍性大腸炎の早期診断に有用か否かを調べます。上記の生検検体に対して、ムチン染色（MUC1, MUC5AC, MUC6）免疫染色を行い、発現の有無を判定します。

研究に用いる試料・情報の種類：病理診断のために採取された生検検体の残余分を用います。必要に応じて診療情報を参照します。

実施医療機関：公立学校共済組合近畿中央病院 病理診断科

お問い合わせ先：本研究に関するご質問がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。また、試料・情報が本研究で用いられることについて、患者様もしくは患者様の代理人の方のご承認を頂けない場合には研究対象とは致しませんので、下記連絡先までご一報下さい。その場合でも、患者様に不利益が生じることはありません。

公立学校共済組合近畿中央病院 病理診断科 浜本 雄一郎

住所：〒664-8533 兵庫県伊丹市車塚3丁目1番地

電話番号：072-781-3712